

新たな地域連携の可能性を探る

日刊工業新聞 (2006年10月20日)

平塚のモノづくり すべてが分かる

同フェアの見どころは盛りだくさん。展示では機械・製造、学校、サービス・支援機関、食品、環境・その他に分かれ、優れた技術とサービスを展示・実演する。なかでも平塚産業の底力を示す機械・製造では、全国はもろもろ世界で通用する製品がずらりと並び、大手、中堅、中小問わず、モノづくりにかかわる企業には参考になる。と評し合っていた。

イベントも充実している。産学公講演では海老澤栄一神奈川大学経営学部教授が「21世紀の市民生活を眺める」、伴野明東海大学情報理工学部情報メディア学科学教授が「五感提示技術とバーチャルリアリティ」と題して、それぞれ講演する。企業合同就職説明会では求人企業約40社が参加して、自社で働く魅力をアピール。キャリアカウンセラーによる就職相談も

ビジネスチャンス拡大／雇用促進に貢献

今回は車を組み立て、パソコンでプログラムを作って走らせ、競争する。事前予約が必要だ (<http://www.dt.u-tokai.ac.jp/LEGO/index.html>)。このほかクラシックカーから最新車をそろえた日産車の展示や産業フロンティア賞受賞作品の展示、環境展、産学公連携相談コーナー、工業活性化促進方策および融資相談コーナーなども設ける。

平塚のモノづくりの現在が、どこにあればすべて分かる。会場を歩けば、こんな加工ができるのか、「わが社が必要としていた部品があった」といううれしい発見があるかもしれない。平塚市は東京に近く、優秀な労働力が豊富、さらには大学をはじめ教育機関が集積するなど、製造業にとっては有利な条件がそろっている。

その恵まれた地域で育ってきた企業だけに、競争力が高い。同フェアに参加する企業の実力をみれば、平塚産業界の力強さも実感できるはずだ。新たなビジネスパートナー探しのために、ぜひとも足を運んでみたい。

神奈川新聞 (2006年10月21日)

とも特徴。市内で機能野菜の栽培技術を開発している「アイエスエス」宮川照男社長は「地元著型で成功することが理想。分野の異なる他社連携を図るのに、こうしたイベントはよい機会」と話していた。

産学公連携相談センター、日産車の展示なども設ける。二十一日には湘南地域産学公交流推進協議会 (KSSK) が主催し、企業に求められる環境経営についての講演会 (講師はKAZコンサルティングの鈴木和男社長) や、事例発表「流通業における環境への取り組み」 (講師は伊勢丹 外商統括部企画・管理担当部長の杉浦信行さん) などでも予定している。問い合わせは、平塚商工会議所工業指導課 ☎0463(22)2512。

(丸山 孝)

湘南総局 ☎0463(36)0155

のチカラ。



平塚市長
大藏 律子氏

「湘南ひらつかテクノフェア2006」は、湘南地域の企業の技術や製品の展示や大学・専門機関等の研究成果の発表など、商工会議所や工業会をはじめとする民間企業と行政、大学とが協働し、平塚の工業の魅力を紹介するイベントです。

ビジネスマ